



あさか環境市民会議

かんきょう

No.39

事務局 埼玉県朝霞市・市民環境部環境推進課内
 TEL. 048-463-1504 / FAX. 048-467-0770
 E-mail : kankyo_suisin@city.asaka.lg.jp
 ブログ: <http://blog.canpan.info/asakanokankyo/>

環境まち歩き—野火止用水と平林寺周辺

10月14日に開催 台風被害も目立ちました

今回の「環境まち歩き」は新座市の平林寺と野火止用水を巡る散策でした。朝霞市内も流れ風土の一部でもある野火止用水ですが、その流路については詳しく知らない人も多いようです。今回は周辺の道路や林内での夏の台風(特に24号)の影響なども見ることができました。

午前10時、新座駅に集合、直前まで小雨が降る天候でしたが、7名の参加がありました。駅前から始まる遊歩道は用水の流れをイメージした遊歩道で10分ほどで「用水公園」に到着します。ここからにぎやかな254号線を超える陸橋を渡って野火止め用水脇の緑道を歩きます。この用水は復元され、254号線以降は暗渠化されて、朝霞市、志木市に流れていきます。付近一帯はクヌギやコナラを中心とした武蔵野の雑木林が平林寺まで続いていきます。途中にかなり太い木が倒れかかっている箇所がありました。台風の影響と思われます。山下橋から野火止緑道に入ったところにある集会所には地元ボランティアの方が行っているホタルの繁殖施設があり、作業中の方に室内の水槽で育てられている幼虫を見学させていただきました。

伊豆殿橋を渡り、少し進むと本流とは違う細い流れが見えてきます。いわゆる「平林寺掘」で、こ



れも野火止用水の目的のひとつだったのです。この堀は関越自動車道を超えて本流につながります。

平林寺の総門前にあるのが睡足軒の森です。無料で見学できる庭園で四季の植物も豊富です。ただこの日は園内の多くが立ち入り禁止でした。管理の女性の話では遊歩道の整備とのことですが、先日の台風での倒木などの処理もあるそうです。平林寺の境内林も台風でかなりの被害を受け、今年の秋は見学も制限しているとのこと。今年台風は発生も多く、風雨により多くの影響を及ぼしましたが、台風大型化の原因のひとつは海水温の上昇ということです。地球の環境はすべてつながっていることを実感します。

取り壊し中の新座市役所を見ながら「野鳥の森」を横切ってまた国道へ。都市化が進む地区と林、田園地帯が同居する地域です。「用水公園」のふるさと新座館に戻って昼食後、暗渠化した野火止用水跡の道路・遊歩道を通って志木駅まで歩きました。

「磯子・火力発電所」と「横浜みなと博物館」の見学会

日時 2019年1月10日(木) 午前8時から午後4時頃まで(往復貸し切りバス)

磯子火力発電所は公害防止協定を横浜市と結び、環境保全対策に力をいれつつ長期にわたり電力の安定供給を行っています。現在でも、世界最高水準の大气污染防治対策と発電効率に優れた石炭火力発電所として機能を保っています。当日は展示室、発電所内の運転センター、ボイラー棟屋上などを見学します。横浜みなと博物館は「みなとみらい21地区」にあり、横浜港をテーマにした初めての博物館です。

- ・ 集合 朝霞市役所裏駐車場 午前8時集合・出発
- ・ 費用 昼食代と横浜みなと博物館入館料(一般350円、65歳以上200円)は各自負担
- ・ 申込 明山副会長へ(今回はあさか環境市民会議の会員限定の募集となります)
- ・ 募集 締切 12月16日 (多数の場合は抽選)

グループで今後の活動を話し合い

あさか環境市民会議の通常総会 2018年5月13日

あさか環境市民会議の第15回目となる総会が平成30年(2018)年5月13日(日)、朝霞市リサイクルプラザで開催されました。2017年度の事業活動報告のあと、新年度事業などを決定。また、役員改選では、基本は留任ですが、新役員を決定しました。毎年、総会終了後にはいろいろなテーマによる講演会が行われていましたが、今年は今後の活動の展開を考えようということで会員による懇談会を実施しました。

*

午前10時からの総会には会員など約16名が参加しました。司会・進行は筑井副会長。開会に先立ちあいさつに立った藤井会長は「今年も新しい活動が生まれるように、皆様のご意見をお寄せください」と述べました。

続いて、この日来賓として出席の朝霞市市民環境部の清水次長は「あさか環境市民会議などの協力を得て、緑地保全活動など進めています。今後も朝霞の環境を守り発展させるための環境会議の活動を今後もお願いいたします」と、当会議への期待と支援を披露していただきました。同じく市民環境部環境進課長の石井氏も紹介しました。

議事は、規定により藤井会長が議長をつとめました。

第1号議案「平成29年度事業報告」については明山副会長が説明に立ち、資料に記載された1年間の活動や行った事業内容の記録を詳細に報告しました。また、自然部会、生活環境部会、広報・評価部会のそれぞれの活動についての報告も行われました。

第2号議案「平成29年度決算報告について」は、望月会計担当役員が説明を行い、いずれも承認されました。

第3号議案「平成30年度事業計画案」については明山副会長が提案を行いました。基本方針は「朝霞市の環境に対して市民、市民団体、事業者及び市が互いに協力、連携しながら、よりよい環境を次世代に残す活動を継続していきます」ということで、①運営会議を通して、会員との情報の交換を行い②部会に関連したイベントを年数回程度行う③各部会が中心となって年間の活動を推進



④環境基本計画を推進するための勉強会を開催一となっています。とくに、自然部会は、愛称を「あさかり山クラブ」とし、斜面林保全活動として、下草刈、間伐、落ち葉掃きや岡、宮戸、根岸台斜面林の整備済み箇所への落葉樹の植樹活動、実生樹の育成環境促進や根岸台里山再生林での湧水を活かした水辺環境の整備などを行っていきます。「生活環境部会」「広報部会(広報・評価部会から改称)」も朝霞のまちを再認識するための事業を企画し、朝霞市の環境を考えるための「環境まちあるき」の開催や道路・公園等における調査結果を踏まえて、検討提言を行うことにしています。続いて第4号議案「平成30年度収入支出予算案」については栗田会計担当役員が説明を行いました。

予算科目名の変更や助成金の扱いなどわかりにくい点を説明、両議案とも承認されました。第6号議案「会則の改正」では、これまで会の実務を行ってきた会議を「役員会」から「運営会議」に変更し、役員は「運営委員」とすることになりました。これも承認されました。

2グループでの懇談会を開催

今回の総会では例年の様な講演会形式でなく、会員の皆さんに自由に意見を出してもらおうためのグループ会議を行いました。参加者を2つのグループに分け、少人数で日頃の活動の中で感じた意見や今後のあさか環境市民会議の活動に対する提案などを話し合い、会員間の交流方法などについて話題が出ました。

自然部会(あさかり山クラブ)の今後の活動スケジュール(午前9時~12時)

	12月	31年/1月	2月	3月	4月
活動予定日	岡 11日(火)	お休み	12日(火)	12日(火)	9日(火)
	宮戸 18日(火)	15日(火)	19日(火)	19日(火)	16日(火)
	根岸台 25日(火)	22日(火)	26日(火)	26日(火)	23日(火)
	予備日 6日(木)		7日(木)	7日(木)	4日(木)